

今日の財政危機を前にして、どのような  
地域社会の将来展望を描くのか？

# 「ミニмум論」再考

自治体学会 編

● A5判・248頁・定価 本体2,800円＋税



「国土の均衡ある発展」をめざした「ナショナル・ミニмум」が、  
結果として今日の財政危機を招いたとすれば、私たちの課題は  
「ミニмум」を問い直すことである。

## 【CONTENTS】

- 【論 説】 地方財政におけるナショナル・ミニмумの財源保障 小西砂千夫
- 【特別企画 座談会】 「ミニмум論」再考 竹内直人／大崎光雄／森田 朗／肥沼位昌
- 【論 説】 ミニмум論再考——福祉・自治・デモクラシー 武智秀之
- 教育におけるミニмум 金井利之
- 【入選論文】 シビル・ミニмумとしての生活保護  
——地方分権におけるミニмумの再編をめざして 藤井 功
- 計画策定のための住民ワークショップにおける  
新たな合意形成手法の考察  
——KJ法の評価とTEPAS分析の活用可能性について 奥村隆一
- 【学会記事】 地域特集：地域はバラエティ 北海道／東北／関東Ⅰ／関東Ⅱ／東海／近畿／  
北陸／甲信越／中国／四国／九州  
大会記事：自治体学会・千葉大会報告

地域社会と市民生活をめぐるガバナンスとは？

年報自治体学第17号

# コミュニティ・ガバナンス 誰が何を決めるのか

自治体学会 編

●A5判・216頁・定価 本体2,800円+税



年報自治体学ラインアップ



地方自治が大きな変革期を迎えた今  
新しい自治体のあり方を探る1冊

年報自治体学第16号

# 自治体のかたち

自治体学会 編

●A5判・200頁・定価 本体2,800円+税